3次元データ

2次元加工に利用可能

ゴードーソリューション 対応ソフト発売

【浜松】ゴードーソリューション（浜松市南区、白畑豊一社長、053・465・0711）は、10月に3次元データ対応ソフト事業を始める。主力の2次元CAD／CAM「ナスカ・プロ」シリーズに、3次元データを読み込む「3Dビュー」と、3次元データを2次元加工に利用できる「3Dコネクト」を追加し発売する。価格はセットで20万円以内を想定。3次元と2次元を連携させ、加工までできるソフトは珍しい。

自動車や電機大手の設計や加工はすでに3次元が主流。しかし中小部品メーカーや金型加工業は今も2次元中心の加工を行っている。新製品は3次元データを容易に取り扱えるようにして既存のナスカユーザーの利便性を高め、拡販する。

3Dビューは3次元データを読み込む基本機能を持つ。ユーザーは3次元モデルへの見積もり対応ができ、受注機会の損失を防げる。3Dコネクトは、深さ情報など従来は手入力が必要だった加工情報が自動入力され、作業を効率化できる。

発売に先立ち、7月1日から試用期間として、両ソフトを無料提供する。10月には「3次元対応支援サービス窓口」を本社内に設け、ユーザーの相談にこたえていく。

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社